

●製品による環境への貢献



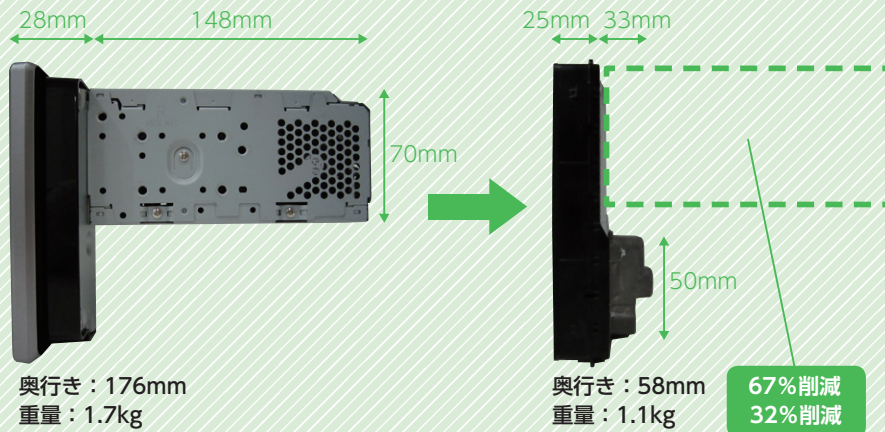
美しい地球を次の世代に引き継ぎます

地球規模での環境保全の必要性を深く認識し、
企業活動のあらゆる領域で環境負荷低減を進めます。

TOPICS

薄型ディスプレイオーディオを開発

自動車メーカー様向けディスプレイオーディオの部品構成を抜本的に見直し、小型のチップへの置き換えなどにより、基板を1枚に集約。これを縦型に配置することで、省スペース化を実現しました。また、小型・軽量化だけでなく、7型から8型へ画面の大型化を図り、IPS液晶を採用することによって、視認性も向上しました。



大型化とIPS液晶採用
により視認性も向上



Voice 従業員の声



原田 直樹 (写真右)
CI技術本部
第一技術部
第三技術チーム

木下 真一 (写真左)
CI技術本部
機構技術部
第一技術チーム

薄型ディスプレイオーディオは、「インパネ搭載自由度の向上」「車室内空間の拡大」「燃費・電費への貢献」をコンセプトに自動車メーカー様に提案し、ご採用いただきました。

製品を小型化するためには、基板実装部品の高密度化・小型チップ部品の採用が必要でした。

開発を進める上で、ディスプレイ表面温

度の上昇が最大の課題となりましたが、シミュレーションを活用し、基板上の発熱部品の配置や放熱用ヒートシンク形状を最適化することで、表面温度の低減を実現。無事、量産に結びつけることができました。

今回の経験を活かし、今後も環境に配慮した製品の開発に取り組んでいきたいと思っています。



グリーンプロダクツ

製品の環境負荷低減を図るため、法規制のある物質や材料を使わないよう設計部門にて製品環境アセスメントを実施しています。

さらに、製品自体の省電力化、小型・軽量化等の評価を実施し、一定基準をクリアした製品を「グリーン製品」と定義し、グリーン製品の中でも環境配慮のレベルが自社あるいは他社の製品と比較してトップグループレベルにあるものを「スーパーグリーン製品」とする社内基準を整備して、エコデザインを推進しています。

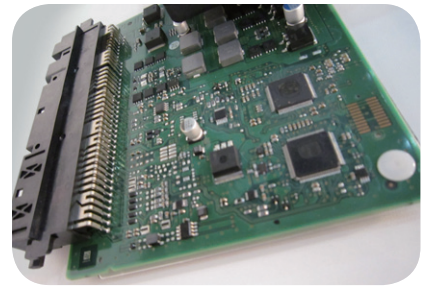
2016年度の取り組み

- 環境に配慮した製品開発をより推進するため、従来の「前モデルと比較しての省エネ、小型軽量化」に加えて、「機能そのものが環境負荷低減につながる製品（環境貢献製品）」を社内審査基準に含めました。

環境貢献製品の例：ストップ&スタート制御ECU

ドライバーの車両発進/停止操作を検出し、エンジンの停止/再始動を自動で制御することで、停車時のCO₂排出を抑えます。

CO₂低減効果：1台あたり約110kg/年



ストップ&スタート制御ECU

マネジメントシステム

TOPICS

ISO14001:2015のグローバル統合認証を業界最速で取得

2017年2月19日、本社およびグループの国内・海外など25社58拠点を対象として、環境マネジメントシステムISO14001の改定規格であるISO14001:2015においてカーエレクトロニクス業界初*1となるグローバル統合認証*2を取得しました。

これまで環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格ISO14001において、当社では、1997年に国内全生産拠点での認証取得を完了し、その後2006年に海外全生産拠点でも認証取得を完了しており、2009年には日本でも有数の早さでグローバル統合認証を取得してきました。

富士通テングループでは、環境中長期VISION実現に向け、製品の環境負荷削減や環境貢献製品の開発とともに、より良い企業市民としてグローバルで一丸となって取り組み、人とクルマと環境のより良い関係づくりを推進していきます。



登録認証書

*1 自動車の車載・電子機器における日系企業において。当社調べ

*2 本社機能を中心にグローバルで全社のガバナンスを行い、法律順守はもとより環境負荷削減などの取り組みをグローバルで行うしくみを構築し、第三者機関が認証する形態